

■■■■■火の島と水の島■■■■■

屋久島町議会だより

令和7年(2025年)6月10日 NO.70



町民の声カウンター

43

令和3年10月～
議会だより宛てに届いた意見数

第1回定例会	・・・	P2
一般質問 8人が町政をたずねる	・・・	P8
全員協議会「電気庁舎移転先の土地取得」など	・・・	P15
令和7年第2回臨時会	・・・	P18

写真：青空がとけこむ淀川

令和7年第1回定例会

3月7日～21日

本定例会には、補正予算案9件、契約案1件、その他の案件6件、条例案5件、当初予算案9件、諮問案3件が提案され、審議しました。

令和7年度予算

一般会計	116億2,200万円
特別会計	37億6,600万円
企業会計	24億7,959万円

令和7年度当初予算に関する総括質疑

ホームページ リニューアル

業務委託費
2000万円

業務委託先の選定方法は。



真辺真紀

総務課 ホームページのリニューアルについては、現在各課に、現在の情報で必要なもの、削除していいもの、追加する必要があるもの等を聞いている。プロポーザル方式で、金額も評価点加点をするような形の中で業者選定を行いたい。4月、5月に募集の準備をし、7月ぐらいまでには決定をして進めたい。

電気自動車購入

備品購入費
2940万円

電気自動車購入の内容は。



大角利成

観光まちづくり課 軽の電気自動車を6台購入、充電設備もそれに併せて6基設置予定。この電気自動車の購入で、例えば台風時とかで避難所のほうで電源供給ができるような形が取れないだろうかということで、ポータブルの給電装置、これも6台の購入を現在計画している。



充電中の公用車

令和6年度3月補正予算に関する総括質疑

学校給食センター 事業計画

業務委託費
1760万円減額

学校給食センター基本計画
策定業務委託料 1,760 万円
の減額の経緯は。



教育総務課 建設に向けて、今年度、基本計画を策定すべく進めてきたが、島内3か所の調理場における各運営委員会からの意見要望をまず取ったほうが良いのではないかと、という内部協議の意見を受け、3か所の運営委員会からの意見の集約に少し時間を要した。これまで事業手法について、公設公営であるとか、T P P 事業のP F I方式、民設民営方式などを検討する中で、具体的に事業方式を定めることが難しく、そういった中で、新たな事業提案を受けたこともあり、事業手法を見直し、まだ正式な提案も、公募もかけてなかったもので、明許繰越しはせず、今回は減額とした。



屋久島町の学校給食

フェリーぶーげんびりあ 借り上げ

屋久島物流対策
支援事業費
3738万円

ぶーげんびりあの支援に鹿児島県が3,700万円出しているが、それ以前に屋久島町が補正予算を出した。鹿児島県が後出しという形になるが、この流れを示していただきたい。



政策推進課 屋久島町がぶーげんびりあの借り上げに対して、県が2月から3月分だけ、3分の1に当たる費用113万3,000円を、予定では33回分計上した。こちらは、11月8日の段階で、県に町長とともに、フェリー屋久島2が運休になったということの相談をした際に、行政支援、財政支援が求められていると伝えた。当然、町だけでは負担は困難なので、鹿児島県にも、折田汽船にも、国にも支援する方法がないのかということで協議をさせていただいていた経緯の中で、県が協議をし、予算が決定した。

動画でチェック

本会議の様子を動画で観ることができます

3月7日 ①



3月7日 ②



3月21日



総務文教常任委員会

委員長 榎光徳 副委員長 小脇淳智郎
委員 大角利成 渡邊博之 高橋義友
岩山鶴美 中馬慎一郎 渡邊浩

給食センターの今後

渡邊博之 令和7年度から始まる学校給食関係の事業で、これは現在ある場所を利用するのか、それともまた別の用地を使うのか。どういう構想なのか。

政策推進課 計画については、屋久島島内に3つの給食センターを1つにするという方針の計画で教育総務課が協議を進めている。できれば民間の資金を活用した整備をすると想定している。場所についての条件は、調理から食するまでが2時間以内ということを満たすことになっており、地理的に松峰地区と小瀬田地区の2候補が上がっているが、未定である。

中学校部活動の指導

渡邊博之 部活動指導派遣推進事業で224万4,000円計上されているが事業内容は。

教育総務課 中学校の部活動で6名の指導員を町内でお願いしており、県の補助を使って町が支払いをしている。ただし、部活動の地域移行をという国の施策があり、町でも会議を昨年も今年度も1回ずつ開催した。今の屋久島町の現状では、地域移行にすぐ切り替えるのではなく、地域連携と併用しながら進めていく考えである。

学校トイレの洋式化

岩山鶴美 現在町内の小学校中学校で洋式トイレの普及はどうなっているのか。

教育総務課 現在町内の小・中学校において洋式トイレは全ての学校にある。需要があるので、今後も予定どおり洋式化に向けて取り組んでいくが、一部和式の非接触型も残しながら、整備を進めていく。

消防詰所長寿命化工事

中馬慎一郎 消防詰所長寿命化工事は先も見据えて、詰所と車庫を一体化した管理しやすいものにすべきではないか。

総務課 消防団の在り方も含めて各分団、幹部会などで協議をしていく必要がある。

国民健康保険 限度額の拡大

渡邊博之 最高限度額についての説明があったが、何世帯くらいが対象になるか。

町民課 令和6年分の資料では、世帯数が2402世帯のうち軽減対象者世帯が1759世帯、約37%。そのうち7割軽減が1056世帯、5割軽減が437世帯、2割軽減が266世帯となっている。今年の申告で国保世帯の申告状況次第で変わってくるが、限度額が拡大されることによって軽減を受けられる世帯は増えると思う。限度額を超えている世帯は令和6年では13世帯になっている。

会計年度任用職員の 公募方法は

大角利成 会計年度任用職員の任命権者は、どのような形式でどのような任命書を渡しているのか。また、公募基準は。

総務課 公募についてはホームページと町報に一括して載せる。各課の課長及び担当係長等の複数名で面接をして評価を行い、町長までの決裁が下りた後、採用通知は各課で出す。会計年度任用職員の給与体系については、前歴換算も踏まえ総務課で再確認をして、各課で辞令をつくって、辞令を各課が交付する。基本的には3年間は採用が継続できるので、年度末に人事評価をするために面接を行い、採用継続をするかしないかという形で事務は進められている。

各集落の Wi-Fi

渡邊 浩 ブロードバンド事業 110 万円。
Wi-Fi がまだ設置されていない集落はあるのか。

総務課 ブロードバンドについては湯向を除き、全ての集落で設置完了している。この事業費は通信費に係る補助金という形で 25 集落分上げている。

公民館整備

渡邊 浩 公民館等の設計委託料について集落によっては要望の範囲が結構大きいと思うが、公民館の増設やトイレの改修など集落の要望があれば対応できるのか。

政策推進課 大規模改修に充てる財源の離島活性化交付金の補助金には、あくまでも防災機能の充実という制約がある。トイレなどは補助の対象にはならないので単独事業としていく方法はあるが、財政バランスを考える必要がある。

廃校の校歌保存

岩山 鶴美 廃校の校歌保存について神山中、八幡中、栗生中の説明があったが、小学校の廃校は対象になっていないのか。

社会教育課 今年度予算については、中学校の栗生、八幡、神山の分になる。小学校については校歌がなかった学校もあるので、今後できるところから集めて残していきたいと思う。

本庁舎の外装塗装

渡邊 博之 本庁舎外装塗装にはかなりの予算が必要となっているが、今後もある程度のサイクルでやっていくのか。

政策推進課 木造ということで、早めに塗装していったほうが、いい状態のものを保ち全体的に延命化が図れるという判断をしているので今後も続けていく。

常任委員会現地視察

3 月 13 日、一湊小学校と一湊地区の防災備蓄倉庫の視察に行きました。一湊小学校では校長先生から学校運営の概要説明を受けた後、子供達の授業の様子や校舎内の不備箇所の点検を行いました。一湊小学校では地域の特性を活かしたウミガメの環境教育などを取り組んでいます。



一湊区が設置している防災備蓄倉庫



一湊小学校廊下素材の劣化についての説明を受ける

産業厚生常任委員会

委員長 緒方健太 副委員長 内田正喜
委員 石田尾茂樹 岩川俊広 日高好作
渡邊千護 相良健一郎 真辺真紀

漁獲資源を増やす

石田尾茂樹 水産業費の新規事業である熊毛地区漁業増殖場整備事業負担金の実施場所は。

産業振興課 イセエビを対象とした増殖場を、永久保沖に2箇所。魚類を対象とした増殖場を一湊1箇所、宮之浦1箇所、船行2箇所の合計6箇所。

農畜産物のPR

真辺真紀 農畜産物PR事業委託の具体的な内容は。

産業振興課 屋久島の主要な農畜産物10品目について、動画制作、SNS等で発信、ポスター、イベント等による周知を考えている。

真辺真紀 動画は、具体的にどこで発信するのか。

産業振興課 基本的にはSNSを考えている。どこに発信するのが有効なのかも含めて、事業者を考えてもらう。プロポーザル方式による一般入札を考えている。

肥料費・飼料費の支援

日高好作 農業資材物価高騰対策支援金2,800万円について、対象は何年何月からか。

産業振興課 令和6年1月から12月の購入費が確定申告に反映される。確定申告を基に申請いただいて、肥料代飼料代の8%を補助する。

※農業用資材の価格高騰の影響を受ける農家の経営を支えるための補助金。

雇用の増を目指す

日高好作 商工費の雇用機会拡充事業の2,550万円の内訳は。

産業振興課 創業が3件、事業拡大1件で、創業が600万円が限度、事業拡大が1,600万円が限度となっており、令和7年度は、創業が2件、事業拡大が2件で予算を若干オーバーすることになったが、予算内で実施できるよう調整中であり、現在は国の承認を待っている状況。

※雇用機会拡充事業・・・特定有人国境離島地域における持続的な居住が可能となる環境の整備を図ることを目的として、雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対して、その事業資金の一部を補助する。

口永良部島の温泉

日高好作 本村温泉と湯向温泉の状況は。

観光まちづくり課 本村温泉は、故障も年度途中で全て解消して、今は安定的に運営している。湯向温泉は、源泉は出ているが、湯量が足りない状況。浴槽にうまくお湯を運べていない。湯量が一定しない。ポンプの清掃等も行っているが、安定しないため、7年度に何らかの修繕をかけたい。



口永良部島の湯向温泉

生ごみ堆肥センター

真辺真紀 生ごみ処理業務委託約2,800万円について、施設も老朽化で深刻だが、このまま同じ形で続けていくのか。

生活環境課 町の方針として、今のところ一本化という形で、方向性を決めてるわけでないため、現段階では、北部と南部体制を維持していくが、将来的には、一本化をして、効率化するというのも視野に入れながら、検討していく必要はある。

万博での出店

日高好作 万博に2回出店予定だが、どのような形での出店を予定しているか。

観光まちづくり課 屋久島環境文化村センターが事務局となって取りまとめを行っている。5月6日は、世界遺産地域全体のトークディスカッションを予定。6月5日は、島の情報発信、県の指定文化財となった楠川盆踊りの披露、水力発電、脱炭素、屋久島憲章の展示をして周知する。

シルバー人材センター

日高好作 シルバー人材センターの設置に向けての動きは。

福祉支援課 令和7年度は、旅費と会議の報酬の予算を計上。視察も種子島など似た規模の近隣の自治体を参考にする。



電線の整備

石田尾茂樹 電線が切れてしまうと電気が途絶えてしまうことについて、上下2線にするなどの対策や今後の見通しは。

電気課 ループで複線にする計画は無いが、有事の際も幹線は生きるような対策は行っていきたい。

ふるさと納税の寄付額増

日高好作 6億円を超えたが、伸びた要因は。

観光まちづくり課 返礼品で1番多いのは焼酎。それ以外にも、パッションやポンカン、タンカンの農産物も出ている。高額なもので屋久杉製品、宿の宿泊券も出ている。

野良猫の不妊去勢

真辺真紀 飼い主のいない猫不妊去勢手術補助事業について、令和7年度までだが、継続はないか。

生活環境課 2月に意見交換会を実施した。とりあえず計画は7年度まで。継続の要望もあるため、検討していく。

口永良部島の遠隔診療

真辺真紀 遠隔診療導入の進捗状況は。

健康長寿課 令和6年度は、診療所の設備整備を行う。これから遠隔診療のデモンストラクションを行う予定。

真辺真紀 事業実施自体はいつからになるのか。

健康長寿課 令和7年4月から実施したい。

議員の賛否

令和7年第1回定例会 審議した議案とその結果

3月7日(金)	開会
3月10日(月)	一般質問：高橋義友、大角利成、渡邊博之、中馬慎一郎
3月11日(火)	一般質問：榎光徳、日高好作、渡邊千護、真辺真紀
3月13日(木)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
3月14日(金)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
3月21日(金)	最終本会議

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田 尾 茂樹
令和6年度一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度上水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度電気事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
エネルギー回収型廃棄物処理施設建設工事請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
屋久島青少年旅行村の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営旭牧場等の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宮之浦活性化施設等の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
口永良部島湯向公民館等の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
屋久島辺地総合整備計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
口永良部島辺地総合整備計画の策定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田 尾 茂樹
国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度診療所事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度船舶事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度電気事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6 災340号橋梁災害復旧工事（宮之浦循環線）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長等の給与等に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

一般質問

16人中 8人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

一人の議員に与えられる制限時間は60分です。
(議員本人の責任において掲載しています。)

動画でチェック

一般質問の様子を、動画で観ることができます。
下の表に表示されているQRコードを読み込むか、YouTubeで「屋久島町議会」と検索してください。

高橋義友 (たかはしよしとも)	P
1. 町営住宅の入居・空き家の現状	10
2. 町営住宅の廃墟の現状	
3. 一湊川流域の河川管理	
4. 栗生・中間間、町道野平線の進捗状況	
大角利成 (おおすみとしなり)	
1. 役場尾之間支所周辺跡地の活用	11
2. 安心安全に通行できる道路整備	
3. 安心できる住環境	
渡邊博之 (わたなべひろゆき)	
1. 航路問題	11
中馬慎一郎 (ちゅうまんしんいちろう)	
1. 災害対策	12
2. 特別支援教室の方針と福祉サービス	
3. 学校部活動の方針	
榎光徳 (えのきみつなり)	
1. 屋久島高校の振興支援策	12
2. 屋久島空港ジェット化推進	
3. 新造船「飛鳥Ⅱ」の就航	
日高好作 (ひだかこうさく)	
1. 農業振興	13
渡邊千護 (わたなべちもり)	
1. 海底清掃の件費	13
真辺真紀 (まなべまき)	
1. 安房総合センターの大ホール整備	14
2. 多目的交流センターの建設計画の状況	
3. 屋久島徳洲会病院への公的支援	
4. 慶弔費	



高橋 義友 議員

町営住宅の現状は

問 町営住宅の入居、空き家の現状は

答 令和7年2月末の町営住宅の入居率は、管理戸数495戸、内、

入居戸数380戸、空き家数114戸となり、北部地区入居率76,2%、空き家23,8%、南部地区入居率77,8%、空き家22,2%《町全体で入居率76,9%、空き家23,1%である。

問 町営住宅の空き家対策をどのように考えているか。

答 規則改正により、単身世帯の入居対象住宅の拡充を行いながら公営住宅長寿命化計画に基づき、改善や修繕を行い、安全で住みやすい環境づくりに努める。

問 町営住宅の地域対応活用について

答 事例市の運用等を参考に、令和8年度の活用計画の策定が可能かどうか検討をしたい。

問 町営住宅の中で廃墟住宅の現状は。

答 用途廃止後の解体に至っていない町営住宅は、宮浦の半四郎田団地3棟、一湊団地1棟。令和7年度の解体経費は計上していない。

一湊川流域の河川管理

問 防災や水害対策の面から一湊川流域の砂州、寄洲の除去回数を増やすべきでは。

答 寄洲の除去は、県が事業主体となり河川等防災事業にて土砂を撤去している。今後も県屋久島事務所によって技術的・専門的知見に応じた優先順位が付されるものと思うが、その場所の選択等は、河川管理者である県屋久島事務所に委ねる。



一湊川流域の寄洲

他、町道野平線の残り区間の工事を急ぐべきでは、の質問をし、早期の完成を目指し努力して参りたい、との答弁がありました。



大角 利成 議員

役場尾之間支所周辺 跡地の利活用

問 先の提案者から辞退する旨の申出があったが、今後はどのように対処する考えか。

答 前回、新たな賑わいを創出することを目的に公募を行った経緯もあり、できるだけ早い時期に事業提案の再考を実施したい。

問 尾之間中央公民館の改修について、どのように考えているか。

答 これまで照明機器、トイレの配管、換気扇などを修繕してきた。令和7年度には2階大会議室に移動式エアコン4台を設置予定であり、当面は必要な修繕を行う。

安心安全な道路整備

問 県道から屋久島おおぞら高校入口までの道路拡張整備を急ぐべきではないか。

答 令和5年度に事業実施方針を決定し、令和7年度から3ヶ年間で改修工事及び舗装工事を実施する計画である。

問 道路幅員はどのように考えているか。

答 7mの2車線道路を計画している。

安心できる住環境

問 安房川上流の尾立ダム安全点検結果について、町はどのように把握しているか。

答 これまで屋久島電工からの報告を受けた事はない。今回照会したところ、県等の書類審査、ヒアリング等が実施されているが、指摘事項は無いとのこと。

問 県・町・屋久電・安房区等で安房川流域の安全に関する連絡会議を立ち上げて、情報を共有すべきと考えるがどうか。

答 その必要性は大事なことだと思う。検討したい。



1963年に竣工した尾立ダム



渡邊 博之 議員

航路問題

問 会社はフェリー屋久島2を、後5年は運航させたいと言っている。5年以上運航できるのではという楽観的期待を、

行政に携わる者は持つてはならない。5年はあつという間。2～3年後までには、将来の航路をどうするのか町民に示す責任がある。ことは切迫していると思うがどうか。

答 不安を感じている。緊急に検討すべき喫緊の課題と認識している。

問 業界トップの方がSNS上で「(フェリー2の後継船)新船をつくる保証はどこにもない」、「採算が取れない事業に企業は参入しない」と発信していることに注目している。「フェリー2の航路は赤字事業ゆえに企業は参入しない。だから新船は造れない」と言っているも同然だからだ。この点、どう認識しているか。

答 以前は新船を造ると言っていたが、最近はトーンダウンしている。中古船も今はどこを探してもない。厳しい状況がある。

問 町長が国に対し「海の国道」という認識のもと、業界への支援と指導を求める方向で働きかける意向を表明していることも大事だが、人と物資が減少していく過疎の進化の中で、町が直接船を造り運営する「公社化」構想も近未来の現実的な航路として選択肢の一つに提案して置きたい。「公社化」のメリットは赤字部分については国が補填してくれること。航路も島民にとって最も利便性が高い、屋久島を母港とする「屋久島朝だしの夕方帰り」を実現できる。今はフェリー2で出かけても鹿児島に2泊しなければ用が足せない。料金は高速船の半分だが、余分にかかる宿泊代で恩恵は帳消しだ。屋久島朝出しのコースだと一晩泊りで十分な時間を確保できる。観光客にも利便性の高い魅力ある航路になる。構想は業界の一方的な判断と行動を牽制する力も持つ。この構想をどう思うか。

答 現実性を備えた考えだと思っている。



3月27日から運航を再開したフェリー屋久島2



中馬 慎一郎 議員

防災対策

問 消防北分遣所の防災対策・移転の見解は。

答 移転の必要性は充分に感じているが、他施設の高台移設を優先とした

した上で、熊毛消防組合と協議し、国の有利な補助も探しながら高台移転を3～4年を目途に進めて行きたい。現在の浸水する問題に対しては、宮之浦区からも対岸からの流入を指摘されており何らかの対処をする。

問 宮之浦、安房の河川・港の浚渫工事の必要性についての見解は。

答 宮之浦港は調査を実施し必要な場合は浚渫を実施したい。火之上山ふ頭は調査の結果、浚渫作業を行う予定。

特別支援と福祉サービス

問 特別支援を必要とする児童生徒の為に特別支援の免許を所有する教職員の在籍人数は。

答 小学校・中学校の管理職含める教職員数128名に対し32名。また屋久島町独自に新任者を対象に研修会を実施している。

問 県が進める巡回型通級指導教室導入の見解は。

答 次の9年度以降のモデル地区になるよう検討していく。巡回型を町単独で行う場合、

意 中学校の通級教室が南部のみにあるので、北部中学校の通級教室と小学校の早い段階での中学校説明会を要望。

問 義務教育から高校教育、卒業後まで一貫した支援体制について。

答 令和5年度から「結いファイル」作成。乳幼児から大学、就労までの支援を記録している。支援コーディネーター、他会計年度職員等の配置により益々の支援体制の構築を進める。

問 第7期障害福祉計画の「地域生活支援拠点等の整備」と「児童発達支援センター設置」の進捗状況は。

答 どちらも令和8年度を目指すが進捗無し、民間の支援事業所が1つあり助成している。

他、国が進める中学部活動の段階的な地域移行について問い、屋久島の場合、完全な地域移行は難しく、部活動と地域移行の併存を目指す地域連携を進めるため部活動関係者の人材確保を依頼している。との答弁がありました。



榎 光徳 議員

屋久島高校通学費等の補助金は？

問 島内唯一の最高学府である屋久島高校の存在は非常に大きい。魅力化プロジェクトに基づく町の各種支援は大変有

有難く、学校・保護者からも引き続いての支援を願っているが。

答 さまざまな支援をしながら、2クラス維持を目指したが厳しい状況である。通学バスの補助やスタディサプリ、留学生への補助等引き続き行っていく。

問 寄宿舎への栗生や永田地区からの生徒の受け入れは出来ないか。

答 国の補助や対象や、バス通学補助等の整合性を図る必要からも厳しさがある。

空港ジェット化（用地買収等）の進捗は

問 事業化は決定、169億の事業費も示されたが10年は長い。県費負担の確実な予算付けが必要だが。

答 予算化は自信をもって取ってくる。10年とは言わず、1年でも早くできるよう人脈を駆使してやっていく。

問 以前、屋久島事務所内に「空港対策室」的なものを要望すると聞いていたが、設置できたのか。

答 対策室は設置できなかったが、整備に必要な用地取得が重要。早期完成に向けた職員体制の強化を図る為、人員の増を図り、令和7年度から会計年度任用職員を採用する予定と聞いている。

飛鳥（Ⅲ）52,200 t の宮之浦港接岸は

問 寄港のニーズはあるものの、船がつけられないというジレンマがあった。港の管理者である県とのやり取りは出来ているのか。

答 接岸の為の防舷材や係船柱の改良等の必要性があり、まず令和6年度泊地のしゅんせつ工事に着手すると聞いている。

意 空港ジェット化とクルーズ船はセットで取り組んでいくべき。今回は、目の前にはっきりしたものが見えており、他にも課題は多いと思うがしっかりと見極めながらスピード感を持って対応して頂きたい。



農業振興について



高 好作 議員

問 今年度のポンカン・タンカンの生産量と実績、ヒヨドリの被害は。

答 ポンカンでは農協取扱量で 56t、販売金額は約 2,894 万円であった。

タンカンの生産量は昨年のお分の 2 程度の見込みである。ヒヨドリの被害はポンカン、タンカン、馬鈴薯で面積 91ha、被害額 2440 万円。

問 ヒヨドリの町の対策はどのようであったか。農家への補助金上限の引き上げも必要では。

答 鳥獣対策補助金 3 万円を上限に、購入経費の 3 分の 1 を補助している。内容については内部で協議したい。同時に収入保険の加入促進も図りたい。

問 施政方針でポンカン・タンカンの補完作物として、レモンやダイダイ等の植栽を推進するとあったがどのように展開したか。

答 香酸柑橘類も苗木購入補助の対象にしたが、実績としては 1 名がレモンの購入をした。

問 どのように農家に普及させて、補完作物として拡大していくのか。

答 周知がされていなかったことは大きな反省であり、JA の座談会や果樹部会の総会でアピールしていく。

問 ジェット化に向けて屋久島の農産物を関東圏に売り込むには、市場などのリサーチは必要だが検討されたか。

答 本町の農産物の航空機輸送は考えにくいことが、個人販売の新たな輸送手段が確保できることは価値がある。また、水産物にとってジェット化は大きな期待を寄せている。関係機関と連携を図りジェット化に向けた出荷方法等の意見交換に努めたい。

問 消費者が何を求めているのかを知ることが大事。東京等で開催される大きなイベントにも職員を行かせることも大事では。

答 議会の理解が得られれば参加させたい。

問 農業では色々な補助事業導入されているが、実際に導入されている事業と農家の経営安定についてどのように捉えているか。

答 新規就農者の支援として、経営開始資金などを活用し定着に向けた取り組みを行って毎年 2 名程度就農している。これまで 24 人が給付対象で、現在 12 名がある程度経営が安定している。



海底清掃の人件費



渡邊 千護 議員

問 令和 5 年度の海底清掃事業では、主任研究員、日給 7 万 7,000 円掛ける 20 日、154 万円。日給 7 万 7,000 円は、市

町村が負担する人件費としては極めて高額であり、高度な知識や資格を有した専門家に対する金額。この金額は適正だったか。どのような知識や経験、資格を有した専門家なのか。

答 人件費は、受託事業者が社内での受託単価規定を定め、名称及び金額を使い見積もったもの。

問 主任研究員の 7 万 7,000 円、20 日間で 154 万円、あと研究員が 3 万 3,000 円の 118 万 8,000 円、経理担当職員の 66 万円、その人件費だけで 338 万 8,000 円、この金額に対して精査して、町としてはこの提示された金額が妥当ということか。

答 町としては、この人件費を含め全て業務委託をしているので、業務委託全体額 1,991 万円というのに対して、こちらが求めた仕様書に基づき事業は完了したと認識している。

問 主任研究員とは、こういった資格を持った方なのか。肩書は。

答 受託事業者が社内で受託単価規定を定め名称及び金額を用いているもので、研究とか、そういう結果を求めているものではない。

問 研究を求めていないということだが、この事業をするにあたって海底調査、海流調査など、屋久島の海流はとても速いので、ごみの流れがどこに行っているのか、どこにたまりやすいのか、こういうことを研究、調査して、こういう数字を上げてくださるならまだ分かるが、そこはやっていないのか。

答 そういう調査というものは仕様書の中にも含めていないので、それは求めていない。

問 人件費に関して、町としては特に問題はないということでしょうか。

答 町としては、仕様書で求めたこの事業が無事に仕様書どおりに完了したので、この事業は適正に終わっていると認識している。



真辺 真紀 議員

徳洲会病院への公的支援

問 応援医師や看護師などの人件費、交通費が病院経営をかなり圧迫しているようだが、財政面で公的な支援をする必要性についての考えは。

答 未来永劫、徳洲会病院の存続は、島の医療における根幹をなすものであり、町として支援をしていくことは必然。ただ、徳洲会病院だけでなく、島内の各事業所で財政面や人材確保について大変苦慮されていることは承知をしており、町全体の大きな課題として、官民でより連携しながら、公的な財政支援の必要性、間接的支援や経費削減等について対策を講じていく。

問 具体的にどのような対策を考えているか。

答 徳洲会病院における雇用の財政支援について、これまで具体的な検討はしていない。

問 新院長が御挨拶に来られた際に、病院の収益について聞いて、率直にどう思ったか。

答 大変だと思った。

問 徳之島では財政支援をしている。徳之島徳洲会病院は、徳之島の3町、徳之島町、伊仙町、天城町から産婦人科の医師を雇用するために年間で1,800万円の補助がある。月に50万円を各町で持っていて、それが3町、12ヶ月で1,800万円になる。その補助が始まった発端は、10年以上前に徳之島に産婦人科の医師がいなくなるということが問題になり、町ぐるみで補助体制を整えた。3町力を合わせて補助体制を整えたということで、現在も続いている。屋久島徳洲会病院の応援医師や看護師、コメディカルを呼ぶことで私たちの命をつなげてもらっているにもかかわらず、それが経営を圧迫していて、今後どうなるか分からないというところに来ているとなると、財政支援が必要になってくると思うがいかがか。

答 なくなると困るので、財政支援は必要だと思っている。屋久島に旅行者が来られるのも、この病院があるからだ認識している。屋久島にとってなくてはならない病院という位置づけをしており、今そういう状況(経営が厳しい)であるなら、できれば手を差し伸べてあげたいと思っている。

一般質問って、なに？

一般質問とは・・・

議員が、市や町の一般事務に対してその執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題など、町長などの執行機関に直接質すことです。



一般質問の基本的なルール

1. 事前に通告

議員は、一般質問の内容を議会に事前に通告する必要があります。具体的には、質問内容の要旨や、質問の対象となる行政機関(町長、教育長など)などに通告します。屋久島町議会の通告期限は基本的には、議会定例会開会の8日前です。

2. 質問範囲の制限

質問の範囲は、町の一般事務全般(公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む)と、住民生活に密接している事項などが挙げられます。特定の個人の私生活に関する質問や、議員の個人的な要望などは、一般質問の範囲外とされています。

3. 簡潔な質疑応答

議員は、質問内容を簡潔にまとめ、簡潔に質問する必要があります。答弁者は、質問内容に的確に対応し、簡潔に答弁する必要があります。

各議員の持ち時間は、60分です。質問回数に制限はありません。

ひとつの質問に対してその都度ひとつずつ答えるという「一問一答方式」が採用されています。

令和 7 年第 1 回全員協議会 2 月 28 日

電気庁舎移転先の 土地の取得

電気課からの説明

旧宮之浦支所周辺は低地であることから、水害や津波などの災害を考慮して、可能なものから順次、高台に移転する必要があるため、電気庁舎も該当するため移転先として必要な用地を取得する。



電気庁舎を移設するために取得する土地

大角利成 職員の駐車場もそうだが、町民の来庁者の駐車場というのはこのスペースで大丈夫なのか。

電気課 職員の駐車場というのは、登上団地という団地があり、かなり大きな敷地。道路の県道反対になる。来庁者の駐車場は 7 台の駐車スペースがあるので、大丈夫だと思っている。

真辺真紀 ①から⑤までは合意ができた土地で、⑥から⑨までが合意ができないと聞いて、電気庁舎を移転するに当たって、⑥から⑨も、用地取得できたほうが望ましいと考えておられたのか。

電気課 出来れば取得したいと考えていた。

真辺真紀 合意ができれば今後取得する可能性があるのか、ここが取得できないことによって、大きな不都合はないか。

電気課 ここを取得することで職員用の駐車場が確保できる。できなくても、県道の向かい側に、登上団地があるので、職員の駐車場として使える予定。

岩山鶴美 この土地の海拔は何メートルか。

電気課 海拔は、13 メートル 50 くらい。

高橋義友 津波は大丈夫だという意見のもとで土地を取得したのか。

電気課 ここが宮之浦の頂点になる。県が示している情報によるとそこまで津波が来るような想定にはなっていないと理解している。

高橋義友 津波対策にして、専門家か何かを入れて、助言を受けたのか。

電気課 そのような助言は受けていない。

ゆのこの湯閉所

観光まちづくり課からの説明

利用者が年々減少している。施設が築 17 年で老朽化して改修が必要で施設の運営が難しいという判断をした。令和 8 年 3 月 31 日をもって閉所する。



閉所が決まった「ゆのこの湯」

日高好作 閉じた後の建物の取扱いというのはどのように検討されているか。

観光まちづくり課 今のところ具体的に検討は進めていない。民間の活用ができないかどうかというのを含め、1 年間検討したい。ただやはり施設が築 17 年での老朽化、ボイラー等の老朽化も進んでるというのは懸案されるので、どうするか検討したい。

5月29日 防災の日制定



屋久島町防災の日制定について
はこちらでご確認ください。



総務課からの説明

・平成27年5月29日、口永良部島での噴火が起きた際、当時島にいた約140名は、日頃から実施した訓練の成果により、迅速に避難行動をし、1人の犠牲者も出さなかった。これを教訓とし、発生日である5月29日を防災の日とし、町民1人1人が日頃の備えや、生活の中で災害の危険性について、今一度考える機会にしたい。

・本町は、地理的条件から各集落で想定される災害種別が異なることが大きな特徴。それぞれの集落で想定されている災害について考え、避難行動や日頃の備えを確認して欲しい。

・毎年5月29日を防災の日として制定したい。平日となることが多いので、29日の前後の日曜日に防災行動の確認ができるような取り組みがしたい。

中馬慎一郎 この日に、町民を一堂に集めてイベントや講演会などの予定は。

総務課 具体的に何をするかという部分を、今から考える。講演会も含めて、啓発活動しながら、テーマを絞って取組ができるような形で具体的なことをする日と、抽象的な取組というような形で考えているところ。ここ数年、口永良部での各種機関の合同訓練も実施していなかったのが、積極的に町から関係機関に呼びかけて、口永良部での合同訓練もやりたいと考えている。

大角利成 1回目は、全集落やったほうが良いと思う。2回目以降はそれぞれの地域自主的なこともあるので任せても良いと思うが、せっかくこういう案をつくって、日を定めるのであれば、ぜひ、そういう方向で検討してほしい。

総務課 近々、行政事務連絡会もあるので、5月29日にやりたいので、集落からテーマを上げてもらい、同日に合同でやるような方向で進めたい。

日高好作 1年に1回は各集落、このテーマをもとに、防災訓練をしましょうっていう呼びかけとともに、実際どのように行われたのか、課題点は何か、担当課で集落全体を掌握する必要があると思う。そうでないと万が一のときに混乱して、対応が遅れると思う。そこまで踏み込んで検討する必要があるのではないかな。

総務課 これまで、各議員から一般質問があり、実際に何もしてなかったのが現状だったのを踏まえて、今回、しっかりとした取組をしようという、まず第一歩目として考えたところ。実際に1回目をどういう形で啓発活動にするのか、そして2回目以降は、本当に各集落の区長と連携をとって、各集落ごとに取り組みができればと考えている。

渡邊博之 防災の日を制定するということには、行政側の責任を鋭く問われることになる。海水浴場とか亀の観察などにおいても、防災、犠牲をどう防ぐかということも真剣に考えていくというようなことも、行政側に問われているということ、少し強調しておきたい。

総務課 そこは重く認識しているところなので、要綱で定めて、町としての責任を持って取り組みたい。

榎光徳 まずは5月29日の口永良部島の大噴火のことを町民に再認識していただく。防災の日を定めるんだということをまずは打ち出して、あとの詳細については要綱も定めてから、追加や改定をしていけば良いのでは。

総務課 まずは、今度の行政事務連絡会の中で、意見交換をして、集落ごとのテーマを提出していただき、5月29日、今年度特に1回目なので、1回やってみて、その結果がどうだったかという反省を踏まえて、2回目に取組みをしていきたいと思う。

令和 7 年第 2 回全員協議会 5 月 2 日

議会取材

石田尾茂樹議長からの説明

4 月 15 日付けで、屋久島ポスト共同代表の 2 名より議会取材許可申立書が提出された。内容は、本会議等での撮影、録音を許可していただきたいというもの。

本件については、議会運営に関する件であることから、4 月 18 日に開催された議会運営委員会において、私のほうから議会傍聴規則第 9 条の規定により撮影等を許可する意向を委員に伝え、協議の結果全会一致にて賛同を得たことから、同日、屋久島ポストに回答書を事務局からメールした。許可の日は、6 月議会定例会から令和 7 年 9 月 30 日まで。9 月以降改選となるため 9 月末日まで。

屋久島町議会の傍聴ルールについて
こちらで確認できます。



渡邊博之 時代の流れでそう決断されたことを尊重したいと思うが、線引きはどういう形になるのか。例えば、一般のマスコミ、これまではそこが基準で線引きしてきた。屋久島ポストが入るということで拡大をしたら、そのほかの線引き、例えば一般の個人がお願いしますということで撮影を許可するということも起こりうることになる。まだそこまで定めてないのか、取りあえずは屋久島ポストだけという考えか。どんな認識なのか。

石田尾茂樹議長 今回の許可はあくまでも屋久島ポストのみ。例えば傍聴者が今スマホで幾らでも録音も撮影もできるが、そういうことは許可することはできない。傍聴規則に則って議長の権限でそういうことをやっていくということなので、今までと全く変わらない。

令和 7 年 5 月 13 日 鹿児島市で開催された 議員研修に参加

講演 1

人口減少と地域社会・地方議会

講師：東京都立大学人文科学研究科教授

山下裕介氏

講演 2

情報とは何か、どう生かすのか

講師：元 NHK アナウンサー

三宅民夫氏



今後の活動に活かしていきます。

本臨時会には、承認案5件、補正予算案1件が提案され、審議しました。

地方交付税の増額について

地方交付税が2億1,400万円ほど増額となっているが、この要因は何というふうに考えているのか、分かる範囲でお示しをいただきたい。



大角利成

今後また同じような状況（フェリーの長期欠航）になったときに、この特別交付金として、国が見てくれるのかどうか、その可能性をどのように認識しているか。



渡邊博之

政策推進課 特別交付税の年間の交付額は5億7,503万3,000円。これは昨年度に比べて1億3,260万円の増加。こちらからは、フェリー屋久島2欠航に伴う代替措置の予算計上分1億7,340万円と昨年度の15号台風に関わる災害復旧事業費1億3,600万円、この合計を追加で要望していたので、その部分の増額を対応していただいていると考えている。フェリー屋久島2の代替措置の部分を、予算計上の段階で特別交付税を措置をしていただいたというふうに考えているところ。

政策推進課 必ずしも要望したからといって、特別交付税で措置されるという確約はないものと認識をしている。まずそういうことがないように、当然ながら再発防止策を国や船会社に要望するとともに、また同じような事象については、ほかの地域でも起こり得る事例だということで、海上運送法や離島振興法の事業等によって、こういったことがあった場合の措置について、要望活動をしていく。現在、全国離島振興協議会や種子島振興協議会で一緒に協力をいただいて、国に対して要望活動をしていこうという取組みを行っているところ。

災害復旧費について

公共土木施設災害復旧費の工事請負費が6,200万円、本村、向江浜道路災害の1工区と麦生循環線2号支線道路災害、この金額の内訳は。



真辺真紀

建設課 本村、向江浜道路の災害1工区の方が5,200万円、麦生循環線2号支線の道路災害が1,000万円計上している。



3月12日の大雨で災害を受けた麦生循環線2号支線

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
町税条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度一般会計補正予算（第12号）の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度診療所事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

表彰伝達式

高橋義友議員が『全国町村議会議長会（自治功労者）15年』の表彰を受けました。
3月7日の令和7年第1回定例会開会前に、伝達式を行いました。



表彰を受けた高橋義友議員



議場にて石田尾茂樹議長から表彰の伝達

町民の声

・「町民の声」に対する字下げの基本方針がよくわかりました。同時に、何か所かこれはどうしてそうなのかわからないところもありました。（69号中の字下げについて、複数のご指摘をいただきました。）

・採決一覧表の欄外、欠席理由で「所用の為」とあるが、「入院中の為」と記されている場合もある。町議会でどこまで把握することになっているのか。

69号も隅々まで読んでいただき、ありがとうございます。また、細部に渡り、具体的なお指摘もありがとうございます。読みやすい議会だよりを編集できるよう、努力を重ねていきたいと思ひます。



志戸子ガジュマル祭りのひとこま

議会の動向

日付	内容
5	2 第2回臨時会・全員協議会
	12 熊毛郡町議会議長会総会（鹿児島市）
	種子島屋久島議員大会議長会（鹿児島市）
	鹿児島県離島振興町村臨時総会・研修会（鹿児島市）
	13 議員研修会（鹿児島市）
	16 熊毛地域農政企画推進会議総会（西之表市）
	19 エコツーリズム推進協議会総会
	26～28 議長・副議長研修会（東京都）
	30 県市町村連携会議
6	2 議会運営委員会

ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。

生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4207 屋久島町小瀬田 849 番地 20

メール：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

編集後記

5月の町村議会議員研修会において元NHKアナウンサー三宅民夫氏の「情報とは何か、どう生かすのか」について講演があり参加してきました。災害時の情報には危険をおおるような流言が含まれたり、多くの情報がSNS等で気軽に発信できる世の中です。「情報」には人命を守るための大きな要素がありますが、私達も議会だよりや議員活動はじめ多くの情報を町民にお届けする立場として、情報の出し方やその責任の重さを改めて感じ、情報が氾濫する現代において、見極める力、情報を読み解く力を身につけることを養わなければならないと感じた研修でした。

中馬 慎一郎

議会を傍聴しませんか

次の定例会の予定は

6月9日 開会

6月10日～ 一般質問

6月20日 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。